

総合型選抜のポイント

東海大学 体育学部体育学科／競技スポーツ学科／武道学科／ 生涯スポーツ学科／スポーツ・レジャーマネジメント学科

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

総合型選抜（学科課題型）

◆出願書類の書式とポイント

◆口述試験のポイント

〈一次選考〉課題を含む書類審査

〈二次選考〉

- 課題への取り組みを重視
- 課題発表〈プレゼンテーション〉面接試験（口述試験を含む）を実施
- 第一次・第二次選考の結果を総合的に判断し、アドミッション・ポリシーと合致した人材を選抜

- 書式 A4 横書き原稿用紙

志望理由書

入学後に学びたいことや、取り組みたいことを含め、
本学の学科・専攻を志望する理由を 600 字以内で述べてください。

- ・黒のボールペンまたはHBの黒芯シャープペンシルで記入してください。（ヨコ書き）。
- ・黒のボールペンで記入し内容を訂正する場合は、修正液等で消して再度上から記入してください。

●ポイント

「学科・専攻」の志望理由を聞かれているので、5つの学科の違いを理解したうえで、その学修内容に見合うものにする。意味の切れ目で2～3回改行して形式段落をつくり、訴えたいことが効果的に伝わるよう工夫すること。

◆体育学科

●課題

まず、保健体育の教科書の中から、あなたが最も興味をもったテーマを一つ選びます。次に、教科書以外の信頼できる資料（書籍、新聞、官公庁・協会・連盟公開資料等）を調べたり、自ら調査・実験をしたりするなどして、あなたが考える具体的な解決策や改善策を述べてください。

●形式

- ・手書きのみ：A4 原稿用紙（タテ置き、ヨコ書き、20 字×20 行）1,600 字度

●課題についての第一次選考での主な評価ポイント（大学発表）

- ・課題文をしっかりと読み、要求されていることに的確に答えられているか。
- ・資料（引用・参考文献や調査・実験結果）をもとに、論理的に記述されているか。
- ・調べた結果とあなたの見解・考察が区別される形で記述されているか。
- ・資料や引用・参考文献の出典が明確にされているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

●第二次選考

「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」10分程度、質疑応答を5分程度

「面接試験（口述試験含む）」10分程度 合わせて25分程度

口述試験：保健体育の教科書に記載されている事項について、保健・体育の分野からそれぞれ1～2問程度。

●ポイント

大学発表の評価ポイントにあるように、引用の仕方や事実と考察の区別につけて資料を作成すること。資料の作成段階から、プレゼンテーションを見据えて、論理的な組み立てを意識すること。

◆競技スポーツ学科

●課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出。

(1) 理想的なアスリートを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。

(2) スポーツの優秀なコーチを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。

(3) スポーツの優秀なトレーナーを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。

●形式

- ・必ずタイトルをつける。
- ・手書きの場合:A4 原稿用紙 (ヨコ書き、20 字×20 行) 1,200 字程度
- ・パソコン等で作成する場合:A4 用紙 (ヨコ書き、20 字×20) 1,200 字程度
- ・図表を用いる場合 : 文書とは別に A4 用紙 1 枚以内

●課題についての第一次選考での主な評価ポイント (大学発表)

- ・今後あなたが進みたい方向性を、明確にとらえられているか。
- ・現在あなたが行っているスポーツと、十分に関連づけられているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見も記述されているか。

●第二次選考

「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」「面接試験(口述試験含む)」

課題発表7分程度 質疑応答を3分程度 面接試験(口述試験含む)を15分程度。合わせて25分程度

口述試験: アンチ・ドーピング(フェアプレイとの関連)とスポーツ倫理(ゲーム中の意図的な反則や暴力、審判への無謀な抗議、試合会場内外での暴動等)について。

●ポイント

課題については、アスリート、コーチ、トレーナーのそれぞれの役割を明確に理解し、大学における学修内容を踏まえて作成する。口述試験は、質問範囲が限られるので、何を聞かれても答えられるように準備しておく。

◆武道学科

●課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出

- (1) 柔道・剣道の平素の稽古にあたって大切な武道精神とは、具体的にはどのような心構えや態度を指すのでしょうか。あなたの体験や見聞を踏まえた意見をまとめてください。
- (2) 武道の発展を図るためには、優秀な指導者が必要です。そこで、学校や地域社会における武道（柔道・剣道）の指導者として、大切な心構えや、指導上の留意点について、あなたの考えを具体的に述べてください。
- (3) 地域社会で活動している町道場やスポーツ少年団などを訪問し、指導方法、稽古内容、参加者などを調べ、学校の運動部活動と比較して気づいた点をまとめてください（団体名・所在地を必ず記入すること）。

※武道学科は、2コース(柔道・剣道)ですので、本課題における武道とは、柔道・剣道を指す。

課題では、「柔道、もしくは剣道に関する実体験を踏まえた知識や意見」を述べる。

手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）1,200字程度

・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、20字×20行）1,200字程度

・文章の冒頭に、なぜその課題を選んだのか理由を明記

●課題についての第一次選考での主な評価ポイント（大学発表）

- ・文章の冒頭に課題を選択した理由が明記されているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見や考えも記述されているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

●第二次選考について

「課題発表（プレゼンテーション）10分程度（質疑応答5分程度含む）」「面接試験（口述試験含む）」10分程度

口述試験内容：柔道・剣道を中心とした武道に関する事項について、2～3問程度。

●ポイント

大学発表の評価ポイントに注意して課題レポートを作成する。実体験を踏まえた知識や意見を述べるにあたり、幼稚な「作文」にならないように客観性をもたせるように意識すること。

◆生涯スポーツ学科

●課題

あなたの住んでいる地域における健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みについて事例を調べたうえで、生涯スポーツをより振興させる方策について、あなたの考えをまとめる。

●形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きのみ:A4 原稿用紙 (ヨコ書き、20 字×20 行) 2,400 字以内、6 枚以内
- ・図表などを用いる場合は、文章と別に A4 用紙にまとめ、添付。なお、図表は指定された字数・枚数には含まない。
- ・図表は、手書きで作成しても、パソコンで作成しても構わない。
- ・文章や図表の作成に使用した参考文献・資料は、本文とは別の A4 原稿用紙に明記。

●課題についての第一次選考での主な評価ポイント (大学発表)

- ・課題と提出された内容に整合性があるか。
- ・健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みが記述されているか。
- ・生涯スポーツを振興させる考えが具体的に記述されているか。
- ・構成が適切で誤字・脱字がなく、ていねいに記述されているか。
- ・参考文献・資料の出典が明確に示されているか。

●第二次選考について

「課題発表 (プレゼンテーション) 10 分程度 (質疑応答 5 分程度含む)」 「面接試験(口述試験含む)」 10 分程度

口述試験内容: 保健体育の教科書に記載されている事項の中から、ライフステージやライフスタイル等とスポーツの関連性及び身体活動・運動と健康の関連性に関する内容について、2～3問程度。

●ポイント

課題は、ネット検索や文献を読むだけでなく、実際に自分の住んでいる地域の施設を訪問したり、取り組みの当事者を取材したりして足で稼いで作り上げたい。

◆スポーツ・レジャーマネジメント学科

●課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出。

- (1) 自らが経験又は関わった祭りや日本の伝統文化について調べ、報告書を提出。
- (2) 自らが経験した子どものあそびについて調べ、報告書を提出。
- (3) 自らが経験又は関わったスポーツやレジャーのイベントについて調べ、報告書を提出。

●形式

- ・選択した課題番号およびタイトルを必ずつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）6枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、40字×30行）2枚程度
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめる。
- ・いずれの課題も引用参考文献を必ず記載。

■課題についての第一次選考での主な評価ポイント（大学発表）

- ・スポーツ・レジャー・あそび・ゆとりなどの概念を的確に捉えているか。
- ・独創的な工夫がなされているか。
- ・今後の展望について盛り込まれているか。
- ・問題を発見しようとしているか。

●第二次選考について

「課題発表〈プレゼンテーション〉10分程度（質疑応答5分程度含む）」

「面接試験（口述試験含む）10分程度」を合わせて25分程度。

口述試験内容：スポーツ・レジャーに関する事項及び英短文の音読・和訳等について。

●ポイント

課題は、報告書提出という形になっているが、単に調べたことを報告するだけでなく、なぜ、そこに着眼し、どんな問題意識を持っているかが、伝わるように仕上げる。「独創的な工夫」と「今後の展望」の部分では、既成のスポーツの概念に捉われず、未来社会を豊かにするような発想で自由に考えてプレゼンにつなげたい。

●学科ごとの口述試験と面接で聞かれた内容の例（聞き取り調査による）

◆体育学科

- ・感染症の予防について
- ・トレーニングの5原則

◆競技スポーツ学

- ・スポーツ倫理とアンチ・ドーピングについて

◆生涯スポーツ学

- ・ライフステージに応じた生涯スポーツのかかわり方
- ・健康とスポーツの関係について

◆スポーツ・レジャーマネジメント学科

過去出題例：英語短文

- ・オリンピック招致のプレゼンテーション
- ・ラグビーワールド 2019 日本大会について

◆面接項目（各科共通）

- ・数ある大学から東海大学体育学部を選んだ理由
- ・将来の夢
- ・将来どの世代に対して教えていきたいのか
- ・自己PR
- ・部活動から学んだこと
- ・大学入学後の部活動
- ・楽しみにしている授業
- ・授業以外で頑張りたいこと
- ・関心のあるニュース
- ・ボランティアをしたことで、将来保健体育教員になったときに活かせることは？

総合型選抜（適性面接型）※2025年度から新規で実施

書類審査、適性面接試験（口述試験を含む）の結果で総合的に判断する。

以上